

県有地（元海風荘、現渚マリーナ）の利活用方針策定にかかる市民説明会 実施報告

日 時 令和 7 年 11 月 29 日（土）14 時 00 分～14 時 53 分

場 所 市庁舎 5 階第 4 会議室

出席者 27 名（うちオンライン参加 4 名）

説明会概要

1. 開 会

岩佐市民協働部長から開会挨拶があり、本説明会の位置づけ及び利活用方針案策定に至った経緯等の説明を行った。

2. 県有地（元海風荘、現渚マリーナ）の利活用方針案について

黒羽経済観光課長から、方針案の概要について、配付資料に沿って説明を行った。

その後、質疑応答を行った。参加者からの意見・質問とそれらに対する回答は次のとおり。

（参加者）12 ページ⑦建物の敷地は県から取得する範囲か。

（市）範囲に含まれる。

（参加者）では、マリーナの指定管理の対象に入るのか。

（市）将来的には入りたい。プロポーザル方式を検討しており、より良い案が出てくれば入れていきたいと考えている。

（参加者）収支について、収入の方で、例えば、指定管理者の提案で事業が色々出てきた場合、収入に付加されてくるのか。市へ払わないという提案もあるかもしれない。

（市）収支のバランスを考えながら検討したい。指定管理者のメリットがなくなってしまうため、市としても過度にもらうことは考えていない。

（参加者）事前に地元自治会に相談してもらってありがたかった。要望を吸い上げてもらって感謝している。田越川の浚渫工事については、砂が飛んできて生活に支障をきたすので、ご配慮いただきたい。また、12 ページの⑦⑧のところについては、市が直営で管理すると思っていた。条件が色々あると思うが、地元の人が利用する部分においては、地元の人の雇用につなげることも、指定管理者との話し合いの中でもってもらいたい。

（市）ご意見として参考にさせていただく。⑦⑧のところの運用については、まずはマリーナの運営が落ち着いてから、皆さんからも意見を伺いながら進めていきたい。

（参加者）都内に通勤して 20 年。本案には大賛成。現在、逗子ヨット協会に所属し、子どもヨット教室など海洋教育に従事している。地元に関差した海に関するボランティア

団体として活動してきた。そのノウハウを踏まえ、ぜひ意見を出し、協力させていただきたい。また、施設の運営経費は利用料金の中でまかなっていくということだが、市民が利用できないような高値になれば都内等からお金持ちが利用するのでは。市民価格の設定について検討いただきたい。

(市) ご意見として参考にさせていただく。

(参加者) 浚渫して航路を作るということだが、もともと東京オリンピックのときに葉山マリーナを直した関係で潮の流れが変わったと聞いている。田越川河口部に砂がたまっているため毎年浚渫しているそうだが、航路を深くしていけばさらに砂(逗子海岸の砂)がたまり、費用がかかると思う。原因は把握しているのか。また、対策は検討しているか。例えば、テトラを延ばすとか。

(市) 田越川の浚渫については、これまで県が、河川管理の一環として、また、相模湾沿岸海岸浸食対策計画(通称・渚計画)に基づく養浜工事の一環として行っている。何が原因かは今現在では分かっていないので、毎年同じ対応を行っているところ。市でも定点カメラを設置し東大の先生にみてもらったことがあるが、調査研究中である。

(参加者) 指定管理者がどういう提案をしてくるか関心がある。生活者の生活環境維持も念頭に置き、現在の環境をできるだけ維持してほしい。12ページの右下に「※利活用に当たっては、現在の景観・環境をできるだけ維持する。」という文言があるが、この「できるだけ」という言葉をあえていれている理由を教えてください。

(市) ⑦⑧の緑地の部分を整備させていただきたいので、まったく同じとはいかないため、「できるだけ」という文言を付した。

(参加者) 夏はジェットスキーの方たちが富士見橋付近で積み下ろしをしている。非常に大きな車が停まって、見通しが悪い中で子どもたちが多く通るので危ない。事業によって車が集まってたまって危ないという状況がないように注意していただきたい。

(参加者) 川の活用という文言が何もない。川の有効活用は面白いと思う。検討案に入れていただきたい。また、指定管理者の運営に逗子市はどれくらい関与するのか。

(市) 例えば交流センターや文化プラザホールでは、月に一回モニタリングを行い情報交換を行っている。同じような形でやっていきたい。

(参加者) できればその組織の中に地元自治会を入れてもらい、地元の声をいれていただけるようなルートを作っていただきたい。今のところ水上スキーの艇庫はマリーナにないが、正直、水上スキーは勘弁してほしいと思っている。

(参加者) かなり広い敷地のエリアで、最近心配しているのが大雨が降った時の排水の経路。雨水がたまっている状況も見受けられるので、雨水処理についてもうまく排水でき

るような計画にしてもらいたい。

(参加者) 方針案に大賛成である。８ページの前提条件３．にあった「海洋教育」について、逗子の特徴を出すうえで重要なキーワードだと考えている。近隣にないような逗子らしいものになってほしい。それを具体化することが課題だと思うが、海洋教育を推進していくうえで、逗子の中の教育機関の意見の吸い上げ等、今後予定されているのか。もしなければ私立市立含めてそのような場があればよいと思う。

(市) 海のことを知っている子どもたちが増えていくことは素晴らしいと市としても考えている。どこにアプローチしていくか、意見をいただきながら進めていきたい。

３．その他

稲井副主幹から、パブリックコメントの実施について案内があった。

４．閉 会